

まちバスのメリット


まちバスば
利用すっぎん、
こがん良かこの
あーばい!

まちバスは、介助なしで乗降できる人であれば、どなたでも利用できます。
ここでは、まちバスを利用することのメリットを紹介します。

まちバス
メリット
01

環境に優しい


最近エスディーゼースはSDGsなど、環境保全の取り組みが進められています。一度に複数の乗客を運ぶことができるバスは、自家用車よりも輸送効率が良く、積極的にバスを利用することは地球環境に優しいと言えます。



まちバス
メリット
02

家計に優しい

まちバスは、移動にかかるコストを削減することができます。
例えば自家用車の年間維持費は40万円前後と言われているのに対し、まちバスは1乗車につき100円しかかかりません。また車両代や税金もかからないため経済的です。



まちバス
メリット
03

健康増進につながる

徒歩での移動距離が短くなる自家用車に比べて、まちバスを利用すると、バス停からの移動で歩く機会が増えます。
自然と日常的に運動量が多くなるので、健康増進にもつながります。




**まちバスは
最大で9人
乗車可能**



利用者の声

たか お ふうこ
高尾 文子 さん (85歳)



実際にまちバスを利用している人に、話を伺いました。

毎週1回、食材や日用品の買い物でまちバスを利用しています。

まちバスが運行する前までは、祐徳バスを利用して遠出していましたが、一昨年に大きな怪我をして、長い距離を歩くことがきつくなりました。

まちバスが運行してから、買い物に行くまでが楽になったのでとても助かっています。公共交通は利用者がいないと成り立たないので、多くの人に利用してもらいたいですね。

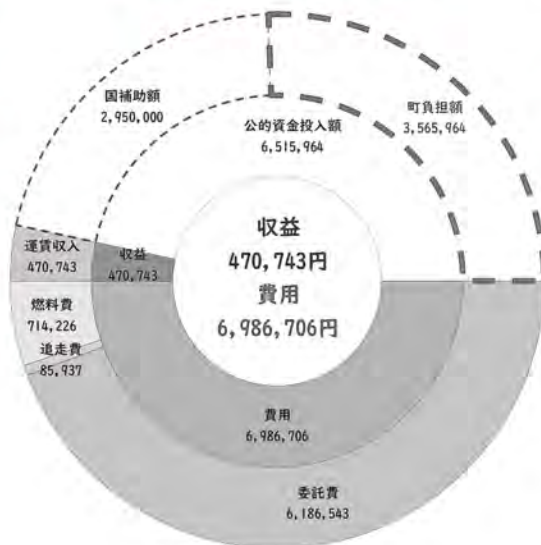
**バス停は
町内29か所
に設置**



交通手段にまちバスの選択肢を

公共交通機関は、一度廃止になると復活はほぼ不可能です。また公共交通の衰退は、地域の衰退にもつながります。しかし今、バス以外に交通手段を持った人たちが「移動手段を次世代に残す責務がある」と当事者意識を持つことで、まちバスを守っていくことができます。それが10年後、20年後も住み続けられる地域づくりにつながります。まずはこの機会に、まちバスを活用して買い物や通院をするなど、一度利用してみるのから始めてみてください。

(グラフ)
**まちバス運行における
財政負担状況 (令和3年度)**



まちバスが抱える課題

人口減少や経済成長の低下に伴う税収の減少、福祉などの社会保障費の増大などにより、今後町の財政運営は厳しい状況が続くことが見込まれています。
まちバスは、運行費用に対する収益(収支率)が10%に満たないなど、その多くが国や町からの公的資金投入により賄っている状態です。
引き続き、まちバスの運行を継続していくためには、なによりも利用者の増加が不可欠です。